

A LITTLE SCHOOL WITH BIG DREAMS

“小さな学校 大きな人間づくり”

こうのうら

佐世保市立神浦小学校
校長室便り

ビッグスマイル
神浦・ザ・13

No.39

平成26年10月15日(水)

文責：校長 園田俊郎

学校教育目標：心やさしく 進んで学び たくましく生きる子どもの育成

本物の笑顔! ビッグスマイル目指して 後期がスタートしました!



3連休を直撃した先日の台風19号、皆様、被害等の影響はなかったでしょうか。特に13日(月曜日)は未明から強風、突風が吹き荒れました。翌14日(火)、校舎を確認すると校舎から体育館への通路上部屋根が破損していましたが、子ども達は全員元気一杯に登校し、一安心でした。

昨日14日(火)から、後期がスタートしました。今年度は、前期の始業式や、夏休み明けの全校朝会では学校生活のキーワードとして、子ども達に次のことを話してきました。

①「何のために」という目的を持って行動すること(目的意識・課題意識)

(目的を明確にして、その実現のため目標を持って取り組む。そのための方法を考える。)

②続けることの大切さ(継続性)

(履物揃えやボランティア清掃をはじめ、頑張っていることや努力していることを今後も継続する。)

③工夫して取り組むこと(創意工夫、主体性)

(どうすればよいか、より良い方法、より上手にいく方法を自分で考え、工夫して取り組む。)

昨日の後期始業式では、「**プラス思考、前向きに考えて、努力し、力を伸ばそう、高めよう**」という意図で以前、インターネット等で話題になったこと(吐くと叶う)を引用して、次のことを話しました。

「吐く」という漢字がある。口の横に＋(プラス)と－(マイナス)が書いてある。

(※漢字ですので本当は＋、－ではなく土(つち)ですが、そう見えるということです。)

プラスは「よいこと」、マイナスは「悪いこと、良くないこと」を表します。

人は誰でも、良いことも悪いことも口から出す。(話します。)

何かをする場合、何かに取り組む場合

「私にも出来そうだ」「私なら出来るかも」「がんばれそうだ」「楽しいな」と、前向きに、プラスに考えるか。

「私には出来ない」「私には無理だ」「できそうにない」「楽しくない」と、後ろ向きにマイナスに考えるか。

「吐く」という漢字から、－(マイナス)を取ると、「叶う」という字になります。

「夢が叶う」「願いが叶う」の「叶う」です。

何かに取り組むとき、何かにチャレンジする時、「無理だ」とか「できそうにない」と始めからマイナスのこと、後ろ向きのこと考えるのではなく、「私にも出来そうだ」「できる」「がんばれそうだ」とプラス思考で前向きに考えて、取り組んでいきましょう。そして、自分の力をもっと伸ばし、高めていきましょう。

引用した漢字の例はこじつけの言葉遊びかもしれませんが、しかし、大人でも子どもでも、何かに取り組もうとする時の心の持ちようはその成果や効果に影響し、表れると思います。

『出来ない理由を探すより、出来るための工夫をすることが大切』だと思います。

前期の半年で、大きな変容や成長を見せてくれた子ども達の、更なる伸びが楽しみな後半です。

保護者の皆様、地域の皆様も、子ども達の成長を楽しみに、これまで同様温かく見守りください。